



砧地区通信

社会福祉協議会（砧地区事務局）発行 令和2年9月号



今回も

子ども食堂さんに

ズバリ！シリーズ
第四弾

ズバリ！インタビューしてみました！



子ども食堂ごはん村



コロナ禍の中、これまでの顔を合わせた交流が制限され、つながりを作る事が困難な状況にある中、ボランティアさんの“**つながり続ける事が大事!**”と言う熱い思いで「新たな取り組み」を始めていました！

★ごはん村さんの新しい取り組み★

- ①密を避ける為、ボランティアの人数制限
- ②Facebook など SNS を使い情報提供・共有
- ③事前登録・予約制で実施
- ④配食はせず、レトルトなど持帰りの食品を配布



8月は11,18,25日の3日間、笑恵館にて開催されました。お米やレトルトカレー、お菓子などたくさんの食料品が準備されていました。参加者からは「とても助かる」「こんな活動がある事を初めて知った」などの声が上がっていました。また、ボランティアさんによるバルーンアートに子どもたちも大喜びでした。活動後は今後について、熱のこもったミーティングも行われていました。



笑恵館



多種多様な食料品



バルーンアート



ミーティング風景

子ども食堂

共働き家庭やひとり親家庭等で遅くまでひとりで過ごす子どもたちの「孤食」や経済的理由による「欠食」の状況にある子どもたちを中心に、安心できる居場所として、区内で無料または安価な料金で食事の提供を行う。



世田谷区社会福祉協議会では子ども食堂を支援しています！

問合せ：社会福祉協議会 砧地区事務局
TEL/080-9418-7736 FAX/03-4330-1226

